

タイの個人旅行者に日本の魅力をアピール ～「Visit Japan FIT Travel Fair 2015 Winter」に参加～

シンガポール事務所

自治体国際化協会シンガポール事務所は、日本政府観光局(以下 JNTO)が主催する「Visit Japan FIT Travel Fair 2015 Winter」に参加し、JNTO バンコク事務所と連携して訪日観光 PR を実施しました。

8 回目を迎える FIT フェアは会場面積、来場者数ともに過去最大規模となりました。日本から参加した 33 団体が日本の観光情報をタイの消費者向けにアピールしたほか、訪日個人旅行商品を販売する現地旅行事業者や現地旅行関係メディアなど 32 団体が情報発信や商品の販売を行い、訪日観光を後押ししました。

1 タイの訪日旅行者の概要

2013 年 7 月より実施されたタイの観光客に対する査証免除措置による追い風を受け、2014 年のタイからの訪日観光客数は過去最高の 657,600 人（前年比 45%増）を記録しました。2015 年も 1～9 月の訪日タイ人数が、541,100 人（前年同期比 24.7%増）となり、依然好調です。

査証免除によりリピーターが増える中、従来型のパッケージツアーではなく、個人旅行者（FIT/ Free Individual Traveler）の形態で日本へ旅行するタイ人が増加傾向にあるため、昨年に引き続き、FIT に特化した旅行フェアが開催されました。



Visit Japan ブースには多くの FIT が

2 タイ人個人旅行者の傾向

会場ではゴールデンルートはもちろんのこと、河口湖（富士山）や飛騨高山（白川郷）に関するパンフレットを求める声が多く聞かれました。

主な質問内容としては、「雪を見られる場所」「桜や紅葉の時期」「ジャパン・レール・パスの利用範囲」が挙げられます。タイ人の訪日目的として「自然」は依然として大きな割合を占めていました。

シンガポールとバンコクは都市人口としては



会場入口は雪をモチーフに

大差がありませんが、訪日旅行フェアへの集客はシンガポールよりバンコクの方が上回っています。訪日旅行ブームもさることながら、英語話者が少数であるタイでは、タイ語で生の情報を得にくいことから、こうしたフェアに足を運び情報を収集することに繋がるといえます。

3 今後の課題と成功の鍵



通り抜けができないほどの人の波

タイを含む ASEAN 諸国でのスマートフォン普及率は年々伸びています。特に FIT に多い若年層では顕著であり、手軽に情報を検索し、その場で航空券や宿泊先を手配する人が増加しています。各地域がインターネットで取引を行う旅行会社 OTA (Online Travel Agent) と協力して、魅力をアピールすることが、今後の ASEAN 諸国における訪日インバウンド成功の鍵を握ると思われます。

当事務所では、引き続き ASEAN 諸国の訪日旅行市場最新情報を収集し、関係機関とも連携しながら地域の魅力を発信していきます。

4 Visit Japan FIT Travel Fair 2015 Winter について

概要	タイの一般消費者のうち FIT (個人旅行者) に日本の多種多様な観光資源とその魅力を官民一体となってアピールするフェア。 2011 年に初開催され、2013 年より年 2 回開催。今回で 8 回目となる。
会期	2015 年 11 月 6 日 (金) ~ 11 月 8 日 (日) 10:00~20:00
開催場所	タイ・バンコク サイアム・パラゴン 5 階 Royal Paragon Hall 1、3
主催	日本政府観光局 (JNTO)
対象	一般消費者
入場料	無料
来場者数	約 46,000 人 (3 日間合計推計値、前年 11 月開催時: 約 38,000 人)
出展団体数	日本側出展団体 33 団体、タイ側出展団体 32 団体
訪日旅行商品購入者数	5,892 人 (3 日間合計、前年 11 月開催時: 4,882 人) ※フェア会場にて 5,000 パーツ (約 17,000 円) 以上の訪日旅行商品のレシートを対象に集計

※ FIT フェアは JNTO 主催で年に 2 回 (夏 6~7 月頃、冬 11 月頃) バンコク市内主要ショッピングモールにて実施します。今後の予定など詳細については、JNTO 日本語サイト (<http://www.jnto.go.jp/jpn/>) の下部にあるイベントスケジュールを随時御確認ください。

(佐々木所長補佐 札幌市派遣)